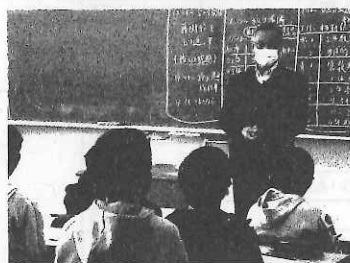
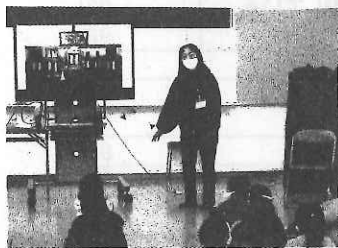




仲よく やりぬく たくましい子

令和2年(2020年) 11月18日発行 文責 校長 山本 剛

制限の中で、楽しみながら学んだ「藤樹デイ」



【恒例のカルタ会】

今年度の「藤樹デイ」を11月11日に実施しました。本来ならば、土曜日開催とし、「いも炊き」を昼食としていただき、芸術鑑賞を実施する予定でした。しかし、コロナウィルス感染症拡大防止のため、例年の内容を大きく変更して実施しました。

開会行事に引き続いて、たてわり活動を実施しました。6年生がリーダーとなって藤樹先生の学習を行いました。その後、ジャンケン列車、大統領ゲーム等もして楽しみました。次に学年(学年部)の教室に分かれて、5名の講師の方々(順不同: 淵田京子さん、武田基裕さん、志村隆仁さん、小川秀治さん、淵田豊朗さん)に藤樹先生やキャリア教育に関わる講話を聞きました。

その後、学年(学年部)で部屋を分散して色別対抗カルタを実施しました。給食後、各学年で振り返りを行い「藤樹デイ」を終了しました。

私は、6年生の教室で淵田豊朗さんのお話を聞かせていただきました。その内容の一部を紹介します。

- ・中江藤樹先生の考え方は、約2500年前の中国の孔子の教えである。(論語)
- ・人間は生まれながら良い方向に向かう力をもって、生まれてきている。しかし成長するにつれて、まわりの人や雰囲気の流れられることがある。生きていく中で、失敗することや人を傷つけてしまうこともある。でも人はもう一人の正しい自分を持っている。自分の心を正すチェックポイントが中江藤樹先生の教えの一つである「五事を正す」ことである。
- ・勉強することは自分の自信につながる。また、人の多様な考え方を否定せずに、知ろうすることが大切である。

様々な制限の中で実施した「藤樹デイ」でしたが、とても印象的だったことがありました。それはたてわり活動での、子ども達の和やかな雰囲気と笑顔です。今年度はたてわり活動を実施する機会が、運動会以外ありませんでした。異学年が交流することの大切さを改めて教えられました。

また、5名の講師のみな様、お忙しい中ありがとうございました。

教育活動に関するアンケート結果について

○10月にWEBによって実施させていただいた教育活動に関するアンケートの集計結果をお知らせします。児童評価と合わせてお知らせします。(下の表の％は「A:そう思う」「B:だいたいそう思う」の合計です。)

【児童評価】	質 問 項 目	％
	1 勉強中は、先生の話、友達の発表をしっかりと聞いている。	95
	2 宿題は、忘れずにやっている。	95
	3 人が集まる場では、静かに並んだり、話を聞いたりしている。	95
	4 進んで発表している。(手を挙げて発表している。)	65
	5 朝読書の他にも学校や家で色々な本を読んでいる。	72
	6 思いやりの気持ちをもってだれにでもやさしくしている。	94
	7 毎日、朝ごはんを食べている。	94
	8 「おはようございます。」「さようなら。」など、あいさつや返事をしている。	97
	9 たてわり活動や全校的な行事では、協力して(進んで)活動している。	92
	10 そうじをがんばっている。	96
	11 私にはがんばっていることや、よいところがある。	86
	12 先生は、勉強でわからない時、ていねいに教えてくれる。	94
	13 先生は、いけない事をしたときには、きびしく注意してくれる。	94
	14 学校では、お兄さんお姉さんがやさしくしてくれる。(低学年)	92
	高学年の人たちは、学校がよくなるように頑張ってくれている。(中学年)	98
	下級生をリードし、学校生活がよくなるようがんばっている。(高学年)	86
	15 学校では藤樹先生やその生き方や考え方についての勉強をしている。	94
	16 進んで自主学習に取り組んでいる。(高学年のみ回答)	55
	進んで自主学習に取り組んでいる。(塾での学習、文化・運動の習い事等を含める)	92

【保護者評価】	質 問 項 目	％
	1 お子さん達は、学校の学習がわかり、楽しく勉強している。	88
	2 お子さん達は、学習用具などの忘れ物をしないように努めている。	93
	3 お子さん達は、自主学習や宿題などの家庭学習に意欲的に取り組んでいる。	76
	4 お子さん達は、進んであいさつができる。	75
	5 家庭では、「早寝・早起き・朝ご飯」のような基本的な生活習慣の定着に努めている。	87
	6 家庭では、子どもに読書の習慣が身につくように努めている。	38
	7 家庭では、家事の手伝いをさせたり、自分のことを自分でさせたりしている。	87
	8 家庭では、子どもの良いところをほめている。	95
	9 学校は、子どもに確かな学力をつけるために努力している。	91
	10 学校の様子が学校だより・学級通信・保健だより等でよくわかる。	79
	11 学校は子どものことについて相談しやすい。	80
	12 PTAとの連携取り組みである「一家庭一家訓」を家庭で実践している。	65

【児童の回答からの課題】

「進んで発表している。」「進んで自主学習に取り組んでいる。」という項目について課題が見られます。

【改善策】

・「進んで発表している。」項目は、全体では65%です。低学年(79%)、中学年(74%)と比較すると、高学年は50%とその数値が格段に低くなります。そのことは成長段階において当然のことだと思います。しかし、大切なことは授業や様々な場面で発表できなくても、しっかりと自分の考えや思いを持たせる機会を設けることが大切だと考えます。今年度は感染症の関係でグループワークによる子ども同士の話し合いや交流活動を多くもつことはできませんが、自分の考えや思いを持たせることを意識し、しっかりと書かせる活動等を充実させたいと考えます。

・「進んで自主学習に取り組んでいる。」項目は55%です。今回、「塾での学習や様々な習い事を自主学習に含める。」とすると92%になりました。このことは、子ども達は放課後や休日に忙しくて、家庭での自主学習の時間がないことも推測されます。ただし短時間でも自主学習は重要です。来年度から、高島高校には文理探求科(難関国立大学進学)が新設されます。一方、安曇川高校は普通科がなくなり総合学科が4科(総合ビジネス系列・情報ビジネス系列・アーキテクト系列・ロボティクス系列)として新しく生まれ変わります。高校進学が最終目的ではありませんが、小学生の高学年から高校等の情報を積極的に発信するなど「将来、なりたい自分」を見つけていく機会を設けて(一生懸命な大人の姿を見せることや魅力的な大人に意図的に会わせること等)、自主的に学習することの大事さを認識させたいと考えます。

【保護者の回答からの課題】

「家庭では子どもに読書の習慣が身につくように努めている。」項目に課題が見られます。

【改善策】

・今年度、図書室の本をシステムで管理し、図書委員がバーコードを読み貸し出しを行っています。雨の日等には多くの子どもたちが図書室に集まり楽しんで読書をしています。今年度も、教職員一人一人が自分の小学校時代の思い出の一冊を子ども達に紹介する等、読書活動の啓発に努めています。短時間でも大人が楽しんで本を読む姿を見せることも大切だと思いますので、是非ともご協力をお願いします。